

株式会社マルワ

項目	内容
1.企業情報	<ul style="list-style-type: none">● 業種：製造業（その他製品（印刷））● 事業概要：「人が集い社会に発信する会社」を経営理念に企画、印刷を通してお客さまに貢献。社内からSDGsの取組も発信する。● 事業規模：資本金1200万円、従業員30名
2.削減目標案	<p><Scope 1・2の削減目標と削減に向けた取り組み> 目標：2030年までに2018年度比で50.4%削減 取り組み：Scope2電力については全てRE100（再エネ100%）を目指す。具体的には再エネ電力メニューの検討、再エネ価値（再エネ由来Jクレジット）購入の検討。また、将来的に社有車のEV化を検討する。</p> <p><Scope 3の削減目標と削減に向けた取り組み> 取り組み：サプライヤーと連携し、グリーン購入法に適した環境物品等の調達・バナナペーパーの取扱い推進、印刷用紙のリサイクル推進等の取り組みを通して、バリューチェーンでの環境負荷低減に貢献する。</p>

株式会社マルワ

項目	内容									
3.基準年のGHGインベントリ[数値は任意]	<ul style="list-style-type: none"> ● Scope 1・2・3の排出量の状況 <p>A pie chart illustrating the distribution of greenhouse gas (GHG) emissions across three scopes. The largest portion is Scope 3 (Category 1) at 93%, followed by Scope 2 at 5%, and Scope 1 at 2%. A legend to the right of the chart identifies the colors: blue for Scope 1, red for Scope 2, and green for Scope 3 (Category 1).</p> <table border="1"> <caption>GHG Emissions by Scope</caption> <thead> <tr> <th>スコープ</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スコープ1</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>スコープ2</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>スコープ3(カテゴリ1)</td> <td>93%</td> </tr> </tbody> </table>	スコープ	割合	スコープ1	2%	スコープ2	5%	スコープ3(カテゴリ1)	93%	<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE1 : 21 [tCO2]
		スコープ	割合							
		スコープ1	2%							
スコープ2	5%									
スコープ3(カテゴリ1)	93%									
<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE2 : 47 [tCO2] 										
<ul style="list-style-type: none"> ● SCOPE3 (カテゴリ1) : 912 [tCO2] 目標の対象セクター : カテゴリ1 										

株式会社マルワ

項目	内容
4.気候変動によるリスクと機会の分析	<ul style="list-style-type: none">● SBT水準の目標設定に取り組むことで、リスク意識の高い顧客の声に応えることができ、自社のビジネスチャンスに繋がる。● SBT水準の目標設定に取り組むことで、社内の環境負荷低減への意識を高め、削減活動を通してエネルギーコスト削減に繋がる。● 企業に対し環境対応への期待が高まることにより、企業の取り組みが促進され、当社の「SDGsによる企業ブランディング支援」事業の成長に繋がる。
5.削減目標設定の背景・目的・期待する効果など	<ul style="list-style-type: none">● これまでもカーボン・オフセットへ取り組むなど環境への取り組みを実施してきたが、SBT目標設定やRE100など世界基準で取り組むことで、社内外への啓発を促進していきたい。● 気候変動対策への取り組みを自社のSDGsの取り組みの一部として対外的にPRすることで新たなビジネスチャンスに繋げたい。

株式会社マルワ

項目	内容
6.目標設定のプロセスと社内の議論	<ul style="list-style-type: none">● 今回の支援を受け、Scope1・2、Scope3カテゴリ1の2018年度の実績数値を算出。またSBTの目標水準に整合した目標を設定。全社会議にて周知し社内への理解の浸透を図る。● 環境負荷低減委員会へ目標達成のための積極的な取り組みを促す。
7.今後の課題	<ul style="list-style-type: none">● Scope2の再エネ化の検討。● Scope3のカテゴリ1の削減目標の設定についてサプライヤーとの協働の方法について検討する。